

別紙

株式会社日本クライメイトシステムズ（本社）温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

- (1) 事業所の名称 株式会社 日本クライメイトシステムズ
- (2) 事業所の所在地 広島県東広島市吉川工業団地3番11号
- (3) 業種 自動車部分品・附属品製造業 3113

2 計画の期間

基準年度：2009年

計画年：2010年（平成22年）～2014年（平成26年）までの5年間とする

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a) 平成 年度	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c) 平成 年度	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
			平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー起源CO ₂							
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス実排出量総計							
温室効果ガスみなし排出量							
実績に対する自己評価							

※ 削減率 (c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比 (e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 生産台数 (台)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a) 平成21年度	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c) 平成26年度	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
			平成22年度	平成23年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー起源CO ₂	0.00338	0.00305 10	0.00281 16.9	0.00332 1.8			
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス総排出量	0.00338	0.00305 10	0.0281 16.9	0.00332 1.8			
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	0.001182		0.001138 3.7	0.001162 1.7			
実績に対する自己評価	基準年比で平成22年度は大幅に改善したものの、平成23年度は震災影響、円高影響などにより生産台数が伸び悩み原単位改善については鈍化傾向にある						

※ 削減率 (c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比 (e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	電気の使用量（原単位）を削減 平成21年4.17kWh/台（基準） 平成22年3.98kWh/台▲4.6% 平成23年4.14kWh/台▲0.7%	<ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房温度の適正管理 ・省エネ型設備の更新、導入 ・電気炉の断熱保温改修 ・生産の効率化とタクトアップによる省エネ ・休憩時間の消灯の徹底 ・外部省エネ診断の活用 ・社内省エネ体制強化と推進
2	LPG使用量の削減	LPGの使用量（原単位）を削減 平成21年50.6Nℓ/台（基準） 平成22年52.2Nℓ/台+3.2% 平成23年48.6Nℓ/台▲4.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・乾燥炉の断熱保温改修 ・工場暖房供給管理の強化 ・ボイラ老朽化更新 ・ボイラ運転（ローテーション）の最適化 ・蒸気ドレン回収再利用

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値実績	具体的な取組み
1	廃棄物排出量の削減	廃棄物の再資源化99%以上達成	<ul style="list-style-type: none"> ・両面コピー、裏面利用等 ・分別収集及び資源化の徹底
2	リサイクル率の向上	廃棄物の再資源化99%以上達成 コピー紙使用量1,027万枚 (昨年比9.7%増加)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境配慮型商品購入、グリーン購入の推進 ・製品の廃棄抑制
3	その他	活動計画に基づき実施した	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回のクリーンアップ活動の実施 ・全従業員への環境教育、啓発活動 ・ケナフ栽培～プレゼント ・チームマイナス6%への参加 ・地域貢献・エコボランティア活動推進

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。